

**特定非営利活動法人
フリースクール全国ネットワーク
2013 年度活動報告書**

(2013.4.1~2014.3.31)

特定非営利活動法人フリースクール全国ネットワーク

〒114-0021 東京都北区岸町 1-9-19

TEL&FAX : 03(5924)0525

E-mail : info@freeschoolnetwork.jp

URL : www.freeschoolnetwork.jp

A. 運営に関する事項

(Ⅰ) 主な会議の開催

- ① 総会の開催 : 2013年6月23日 於・東京シューレ王子
- ② 理事会の開催 : 2013年6月23日午前、午後(東京)、9月16日(東京)、2014年3月30日(東京)、計4回開催
- ③ 事務局会議 : 毎月1回定例開催の他、必要時に開催
- ④ その他: 多様な学び保障法を実現する会運営会議を月1回開催、同事務局会議、各種実行委員会を適宜開催、9月よりふくしまの子ども支援協議会事務局を受託

(Ⅱ) 会員状況

- ① 正会員 : 43団体
- ② 支援会員 : 44人・団体
- ③ 会員状況 : 正会員の入会は1団体、退会が1団体で、正会員数は43団体を維持した。
3月末のJDECの効果もあり、2014年度に入って正会員1団体、支援会員3人・団体の入会がある。

(Ⅲ) 基盤整備について

2012年度に引き続き、コーエイビル内のネットワーク整備等に取り組んだ。
また、多様な学び保障法を実現する会、ふくしまの子ども支援協議会の2団体の事務局業務を受託、経営基盤の安定化を図った。

(Ⅳ) 事務局の体制

開室 : 毎週平日 9:30~18:00

職員体制 : 事務局長 1名 松島裕之 週5日
事務局員 5名 朝倉景樹、安美留久見子、力石みのり、
中村国生、藤田岳幸 適時協力

※事務局会議は、上記のメンバーと奥地圭子、増田良枝両代表理事の出席の下で行った。

(Ⅴ) 他機関との関係

- ① 登校拒否・不登校を考える夏の全国大会 in 関西を、NPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、関西圏のフリースクール、不登校の親の会等からなる現地実行委員会と協力して開催した。
- ② 寺子屋方丈舎、ビーンズふくしま、チャイルドラインこおりやまの3団体からなる「ふくしまの子ども支援協議会」の事務局業務を受託。また、事業実施に際し、関東以北の複数の加盟フリースクールから、スタッフ派遣の協力を得た。
- ③ 多様な学び保障法を実現する会の運営を通じ、シュタイナースクール、サドベリースクール、ブラジル学校、インターナショナルスクール等の実践者ともつながりを深める事ができた。
- ④ NPO法人全国不登校新聞社、朝日新聞社と連携し、不登校の子どものための進

路セミナーを開催。また、不登校新聞社とは昨年引き続き日常的な情報交換を行った。

- ⑤ フリースクールフェスティバル 2013 を加盟フリースクールと協力して開催した。開催に当たっては、実行委員会や当日の参加のみならず、開催協力券の購入という形でも、多くの団体に協力を受けた。

寄附金

特別寄付	フリースクールフェスティバル開催協力券 (ネットワーク加盟各団体、およびその関係者、個人)
一般寄付	フリースクール環境整備議員連盟 (解散時の残金の寄付) 個人多数

B. 事業および活動に関する事項

(I) ネットワーキング事業

- ① 第6回 JDEC (日本フリースクール大会) の開催

今年で6回目を迎える JDEC (日本フリースクール大会) は、第一回大会以来初めての試みとなる、フリースクールスタッフ養成・研修講座と切りはなしての単独開催となった。事業を分けることによる経費の増加、参加者の減少などが懸念されたが、多くのフリースクールのスタッフに実践発表をお願いし、例年より多くの参加者を得て開催した。

開催日	2014年3月29日～30日
参加人数	123名
開催場所	東京都渋谷区 国立オリンピック記念青少年総合センター
参加団体	札幌自由が丘学園、漂流教室、寺子屋方丈舎、フリースクール青い空、子どもサポートチームすわ、りんごの木、ネモネット、ぼくんち、@なります、なゆたふらっと、東京シューレ、東京シューレ葛飾中学校、たまりば、ドリームフィールド、三重シューレ、みなも、近畿自由学院、ふおーらいふ、まっくろくろすけ、ヒューマン・ハーバー、クレイン・ハーバー。他、会員外フリースクール等18団体、合計40団体

- ② ふくしまの子ども支援協議会 事務局受託

ふくしまの子ども支援協議会の事務局を受託。震災以後に採用された若手スタッフの育成を、各地のフリースクールスタッフの助力を得ながら行った(電話、スカイプによるメンタリング、集合研修、訪問研修等)。フリースクール全国ネットワークは支援スタッフのコーディネート、および研修記録の取りまとめを担当した。

構成団体	寺子屋方丈舎、ビーンズふくしま、チャイルドラインこおりやま ※協議会の設置、若手スタッフの育成
協力団体	ぷらっとほーむ(山形市)、フリースクール全国ネットワーク ※研修プログラムの作成、実施 漂流教室、りんごの木、東京シューレ、東京シューレ葛飾中学校、ねおす(北海道)、with 優(米沢市)、チャイルドラインみやぎ ※メンターの派遣、訪問研修の受け入れ

③ フリースクール設立・運営支援

- ・2012年度にひきつづき、在籍校の出席扱いの認定に関する事柄や、その他行政との関わりについて電話やメールでの相談を受け付けた。2013年度は、個人からの問い合わせ、インターナショナルスクール等からの問い合わせの多い一年だった。

④ 情報発信

- ・文科省学校基本調査、フリースクール基本調査等に関する問い合わせ、閲覧の多い一年だった。また、各地のフリースクールのイベント情報など、地域で活動するフリースクールの情報も積極的に発信することが出来た。
- ・ニュースレターを3回発行し、団体の活動を季節ごとにまとめ、報告。会員団体に加え、近隣のNPOセンター等にも配布した。
- ・フリースクールフェスティバルやJDEC等の機会を活用し、全国の大学や会員外フリースクールやオルタナティブ教育機関にニュースレターやリーフレットを送付した。

⑤ 基盤整備への取り組み

- ・定期刊行物等の電子書籍化は、助成金を得ることが出来ず、着手ができなかった。
- ・進路支援についての実態調査は、JDECのテーマのひとつとしてとりあげ、関係者による情報交換を行った。

(Ⅱ) 交流イベント事業

① 不登校・登校拒否を考える夏の全国大会の開催

NPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワークとの共催で、兵庫県宝塚市での開催をした。18年ぶりの関西での開催ということもあり、かつて当事者として大会に参加した人が、若者となり運営、講師などで活躍する場面も多くみられた。

また、5月には現地実行委員会主催によるプレ集会「不登校・いじめ 一人で悩まないで」も開催。奥地圭子による講演、保護者によるシンポジウムののち、フリースクール、不登校の親の会、それぞれのテーマでの分科会を行った。

開催日	2013年7月27日～28日
参加人数	349名
開催場所	兵庫県宝塚市 宝塚ホテル

② フリースクールフェスティバル2013の開催

フリースクール同士の交流と連携を促進し、地域への情報発信、子どもたちへの様々な体験、活動発表の機会提供を目的とした「フリースクールフェスティバル2013」を開催した。助成金の獲得に失敗し、東京のみでの開催となったが。関東圏のフリースクールによる子ども実行委員会のほか、フリースクールフォロより企画の持ち込みもあり。参加者も北は北海道、南は長崎から、おとな、こども合わせて約490名が参加、大きな盛り上がりとなった。

開催資金の確保のため「開催協力券」を一口1000円で頒布、フリースクール等団体、OBOGなどを含む関係者を中心に257口を売り上げた。

開催日	2013年11月23日
参加人数	約490名

開催場所	東京都葛飾区 東京シューレ葛飾中学校
参加団体	札幌自由が丘学園、りんごの木、東京シューレ、@なります、ネモ、フォロ、クレイン・ハーバー

(Ⅲ) 研修事業

① フリースクールスタッフ「研修・養成」講座の開催

第一回JDECを開催した2007年以来、6年ぶりの養成研修講座単独での開催を行った。昨年度開催後の意見を受け、特に経験者研修の部分は相互の交流・意見交換の時間を長くとり、一定の評価を得た。

参加人数は、当初見込みより約10名少ない59名となったが、現役の教員等の参加が多かったことは、今後の広報の参考ともなる成果である。

開催日	2013年9月15日～16日
参加人数	59名（宿泊29名／日帰り30名）
開催場所	東京都渋谷区 国立オリンピック記念青少年総合センター

(Ⅳ) 国際交流事業

① IDEC（世界フリースクール大会）へむけたとりくみ

12月3日にIDEC2013の参加報告会、3月30日はJDECにて講座「世界のフリースクール」を開催。2014年度のIDEC韓国大会、および日本からの参加ツアー開催に向け、周知活動を行った。

(Ⅴ) 調査研究・政策提言事業

① 多様な学び保障法の実現へ向けての取り組み

2012年末の政権交代以降、制度への取り組みはスピードを落とし、法案や「多様な学びの意義」についての議論を深める一年となった。2月1日、2日には実現する会主催で「オルタナティブな学び 実践研究交流集会～新たな“普通教育”の創造へ向けて～」を開催。汐見稔幸さん、喜多明人さん、リヒテルズ直子さんの講演、多様な学びの場による実践報告、分科会などを行い、約220名が参加した。

② 「すぐにでもできる9の提言」の実現に向けての取り組み

多様な学び保障法を実現する会の活動と並行し、9の提言の実現に向けた取り組み（ロビー活動）も地道に行った一年となった。年度末には、新たな「フリースクール等議員連盟」の立ち上げも決まり、2014年6月3日、設立総会が開催された。

③ フリースクールの状況把握のための経年調査

フリースクールの活動や財政状況などについてフリースクール全国ネットワークの参加団体を対象に毎年行っているフリースクール基本調査を2013年12月から2014年1月にかけて行い、38団体、42活動場所からの回答を得た。

(Ⅵ) 各団体の組織基盤整備とファンドレイズ事業

- ・2013年6月の総会后「フリースクールの先進事例に学ぶ」と題し、認定NPO法人制度の活用についても学習の機会を持った。